

# 沖縄型金型

## 芽吹く技術

<4>

小規模な特定の客層を狙った「ニッチ（隙間）市場」で活躍する企業が多く立地する石川県。2013年8月にも沖縄に生産拠点の設置を計画する産業機械メーカーの渋谷工業（金沢市、渋谷弘利社長）もニッチ市場で先頭に立つ企業として知られる。

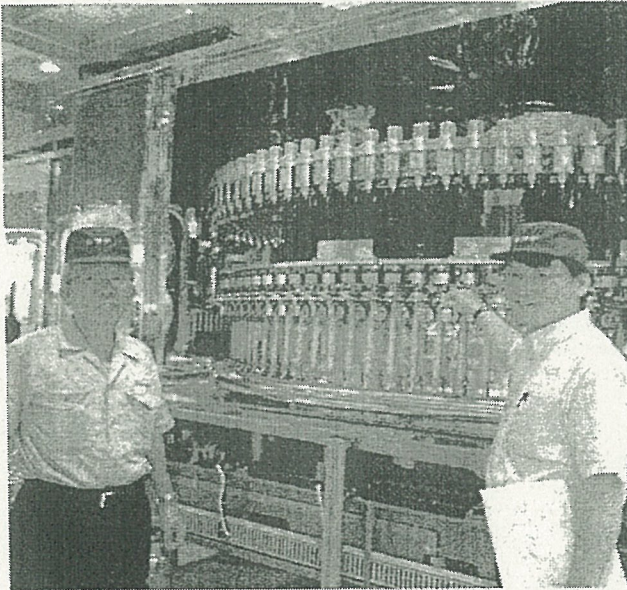
飲料や調味料などの液体を容器に充填する装置「ボトリングシステム」製造の国内最大手で東証1部に上場、国内外に製品を供給している。金属加工や設計・開発、装置製造は「世界最先端」の技術を誇る。

## 渋谷工業

①

同規模の工場が本社敷地内にも数棟並ぶ。そのほか、半導体製造装置や医療機器を製

## 世界最先端、の技術誇る



渋谷工業が製造するボトリングシステムの機械を紹介する西村輝雄広報部長（右）ら＝石川県金沢市。

作する工場も立地する。金沢市内のほか愛媛県松山市や静岡県浜松市などに子会社を抱え、県内4カ所、県外に10カ所近い生産拠点がある。

清酒、洋酒、ビール、清涼飲料調味料。同社のボトリングシステムは容器に液体を入れる機械「フィラ」を核に、容器殺菌機や瓶洗浄機、キャップ殺菌機や瓶洗浄機、キャップ殺菌機、半導体製造装置など

取り付け機、ラベル張り機など各機械が連動し機能する。コカ・コーラをはじめ、各大手ビール会社など各業界に数多くの納入実績を誇る。

さらに充填機械製造の技術や知識を生かし、食品や日用品などを包装する装置や注射剤や錠剤を充填、包装する製薬設備、半導体製造装置など

## 沖縄の生産拠点化期待

装置メーカーとしての分野を広げている。従業員はグループ全体で約2700人、12年6月期決算の連結売上高は681億円。15年6月期の売上高は1千億円を目指している。

ただ、産業機械メーカーは韓国や中国勢が台頭する上、円高の影響で国際競争力が厳しさを増す傾向にあり、コスト削減が大きな課題となっている。

渋谷社長は「常に時代のニーズを先取りし製品づくりに力を入れてきた。品質は決して負けないが、円高でコスト面の競争が厳しくなっている」と指摘。「沖縄は全国に比べ人件費が安い。目標達成に重要な生産拠点になると考えている」と沖縄工場に大きな期待を込める。

（謝花史哲）  
（水―金曜掲載）